

その他の事業のその他における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	15~16	屋外のコンクリートの上で、同僚と二人で賽銭箱（70×151×75cm）の位置を50cm程移動させる作業をしている際に、賽銭箱の中に大量の硬貨が入っていて100kg程度の重さがあり、持ち上げようと力を入れたときに踵が浮いてしまい、爪先に体重と賽銭箱の重さがかかり、右足趾を負傷した。	63	—
1	10~11	封緘作業のため、段ボール詰め封筒資材を平台車から持ち上げるときに腰を痛めた。	45	100~299
1	11~12	被災者は当時作業場内で、書店より返品されてきたカレンダーが入った段ボール箱（一箱約15~16kg）の中身を、作業台上でバーコード読み取りし、起票して詰め直し、脇のローラーコンベアに載せる際、当日の処理量が多いので、つい2箱を一度に持ち上げたため、背骨に激痛が生じた。	62	50~99
2	9~10	共同販売部、倉庫内において約1m70cmの高さでのダンボール整理作業終了後、昇降用のロープにつかまり降りようとしたがロープが張っておらず、弛んでいたため、そのまま足を滑らし、左足から地面に着地した。	65	10~29
2	6~7	支店1階倉庫で現場で使用する部品の準備中、腰に激痛がして動けなくなった。箱物3kg（300×300×300）ベルト部品。	36	10~29
2	14~15	得意先店舗の倉庫内で作業中、重機が梱包されていた段ボールが倒れて来たので受け止めようとしたが、予想外に重く支えきれずに右肩に落下し骨折した。	57	—
2	10~11	会社工場で石油缶に入っている30kg位の荷物を移動中に足を滑らせ右膝に違和感を感じ、午後に痛みが強くなり受診した。その後、翌月会社で作業中、パレットに荷物を載せようとして負傷している足のつま先をパレットにぶつけ痛みが強	28	—

		なる。		
2	18~19	開発棟前の駐車場で装置をユニック車両（6.0t）に積み込み作業中、台木の位置に配線があることに気づいた。気になったので、修正しようと手を出した時に装置（冷却ユニット）が降りてきてしまい装置と台木に指が挟まれ負傷した。	54	50~ 99
2	11~12	特別養護老人ホームの更衣室で清掃作業中に、床に置いてあった荷物（枕）をロッカー（高さ1.5m程度）の上に背伸びして上げようとしたところ、荷物の重さでよろめき、側面の壁にぶつかり、転倒し、壁にぶつかった際に腰を打った。大丈夫だと思って様子を見ていたが、痛みが増してきたため病院を受診したところ、骨折と診断された。	75	10~ 29
2	9~10	職員3名で倉庫内の書類の整理をしていた。男性2名で棚の最上部に置いてあったバインダーファイルを下の棚に入れ替え作業中2冊のファイルが落下した。落ちたファイルを当該職員がしゃがみ込んで拾っていた時に、更に別のファイル3冊が落下し、その内の1冊が当該職員の後頭部に直撃した。ファイルは板の上に置かれており、ファイルを動かしているうちに板が浮き上がり、手前に置いてあったファイルが落下したものである。ファイルの角が直撃したため、相当の衝撃があったと推測される。	59	100 ~ 299
3	18~19	営業先店舗にて商品カウント作業中、両側が商品棚になっている幅1mほどの通路に於いて、棚の一番下に積まれた箱（ハチミツ、100cm×40cm×20cm、重さ約10kg）を中腰の体勢で持ち上げた際、腰に痛みがはしった。	27	30~ 49
3	16~17	事務所内で書類整理時、棚のファイルを取ろうとして手が滑り、ファイルが足に落ちた。	46	1~9
3	13~14	店の中で棚卸しのため数を数えている時、ダンボールの角に足をとられ前に進めず、手をつける所がなかったため左膝を床に強く打ってしまい、足を床につけて歩く事も、膝を曲げる事も出来なくなった。	60	—
3	10~11	構内にて洗浄後の折りたたみコンテナを台車に積む作業を行っていたところ、20~25段目の折りたたみコンテナを積んだ際に背中（肩甲骨左側付近）に違和感を覚え、蓋を掛けて紐を下方に引っ張ったときに痛みが発生した。	25	10~ 29

3	13~14	サービスエリア内で、料理をトレンチに載せて歩き出そうとしたときに腰が痛くなり、歩行困難となり、腰椎捻挫と診断された。	44	100 ~ 299
3	23~24	コンサートステージでの床材マット（リノリウム）を持ち上げる際に落ちてしまい、床とステージ間に右手を挟み、人差し指・中指を骨折した。なお、床材はステージ両端を覆うほどの長さで、カーペットを巻くようロール状にしている。	30	500 ~ 999
3	9~10	倉庫内で小物部品の検品中、突然手足に力が入らなくなり気絶した。倒れた際にパレットの上のダンボール部に首、頭部をぶつけた。	43	10~ 29
4	12~13	構内にてトラクターのタイヤ取り替えの為、タイヤを立てた状態で押さえていたが、バランスをくずし倒れたため踏ん張ったところ、左足を負傷した。	28	10~ 29
4	9~10	第6センター倉庫内でパンのピッキング作業中、パン小箱を10枚低い所へ移動したところ、腰がのびた状態もしくは中腰から持ち上げて椎間板ヘルニアを発症した。サッカークラブチームに所属していて、足に痛みを感じるようになり、その後、痛みの原因は足ではなく腰であることが判明した。	24	100 ~ 299
4	22~23	洗浄済みグラスラックを収納する為、バックヤードにて両手にラックを所持した状態で運搬中、足を滑らせ転倒した。その際、右足をエレクターに強打し、背中から転倒したが、打ち身程度と判断し、業務終了まで勤務した。しかし翌日も痛みが引かず、背骨と右足親指だと分かった。	57	10~ 29
4	14~15	トラックのコンテナへカートン（飲料2?×6本、約12kg）を搬入する作業に於いて、自身の身長（156cm）より高い場所から飲料のカートンを背伸びをした状態で取り、頭上で背を反りながら持たざるをえず、前屈みになって下ろすという作業を繰り返した結果、腰痛が発症した。	22	100 ~ 299
5	11~12	図書館内で70~80冊の本が入っている箱を台車に載せようと持ち上げた際、重さでバランスを崩し不自然な体勢になってしまった時、強い痛みが起きた。	22	10~ 29
5	10~11	派遣先青果売場バックヤードの野菜仮置き倉庫にて、台車に積まれた野菜の箱を種類ごとに仕分けし、それぞれの台車に置き換える作業をしている際に、玉ねぎの箱を目線より高い位置へ上げようとして腕を上げたところ、無理な体勢とな	74	1000 ~ 9999

		り、腕が捻じれたようになり左肩を痛めた。		
5	8~9	派遣先工場内において屋内資材置き場片付け作業中、畳んだ段ボール10枚を束にしたもの（重さ約5kg）を所定の位置に運んでいたところ、両手で持ったダンボールを置き場に置こうと前かがみになった際、腰に痛みが走った。	44	10~ 29
6	17~ 18	工場で、容器の小ビン約10kgを積込中、1時間ほど作業した。運搬用の網カゴに積み込む為、腰を曲げた状態（前屈み）で腕を伸ばしていた時、腰に激痛がはしった。	46	100 ~ 299
6	20~ 21	日々納品される飲み物や食材が封入された重いダンボールを頻繁に持った事、及び接客の際に膝をついていたり、屈んだりすることが多い事により、3ヶ月の勤務後に、立っているだけで痛みを伴うようになった。	27	1~9
6	4~5	仕分工程にて、パンを店舗別に仕分けする際に、製品の入ったパン箱を台車に載せようとした時に台車が少し動いていたので、被災者が台車を手で押さえたところ、製品を持っている作業者が製品を降ろしてしまい、既に積んでいたパン箱とパン箱との間に右手中指が挟まれ受傷した。	38	30~ 49
6	10~ 11	コンテナの右側の扉を閉める時に。一部コンテナ内部のパレットが少し前面に出ており、そのパレットをコンテナ内部に押し込む為、強く扉を閉めた時に扉固定ハンドルがコンテナ下方のフックに当たり、右回転し右手薬指に当たった。	50	30~ 49
6	3~4	物流センターチルド庫内で仕分け作業をする際、パレット上に荷物を載せる作業を繰り返していたところ、両足（特に左足）膝の裏側に違和感と痛みを覚えた。	49	30~ 49
6	16~ 17	荷物の受け取りと搬送のため、工機にてトラック積み込みの準備中、荷台に荷物を立て掛けていたところ、不安定な状態で立て掛けていたためか、なんらかの振動により荷物が右足踵に倒れて来て骨折した。	30	1~9
7	11~12	洗濯室内に水が垂れており、気づかずに歩行した際に滑り、仰向けの状態で転んでしまった。	72	100 ~ 299
7	10~11	カウンター準備中に、立ちカウンターから景品の入ったカゴを持ち上げたところ、腰を負傷。	52	100 ~

				299
7	14~15	スイカの運搬作業中に、スイカとスイカが積んであるコンテナとの間に右手の薬指と小指を挟んでしまい負傷した。	19	30~ 49
7	16~17	当寺院内にある倉庫において、棚卸しで線香の数を確認するためダンボールを開けた際、ダンボールの蓋の角が左目の眼球に当たり負傷した。	69	50~ 99
7	11~12	地形測量中、次のポイントに移動するため、左手にピンボールを持ちながら、1mの段差を下りようとした時、下から20cmの高さに鉄のカゴがあったためそれを利用しようと右足を掛けたところ、思いのほか弱く耐えきれずつぶれてしまった。その際、反転しながら尻もちをつく形で地面に落ちたと同時に、先にあった鉄骨の柱に背中を強打、それにより右側背部肋骨を骨折負傷してしまったもの。	58	1~9
7	15~16	店舗レジ周辺にてゴミを集める作業中、ゴミ袋を右手に持ちレジ出入口から出ようと右足に体重を乗せた時に膝を捻ったような感じがあり崩れ落ちそうになった。慌てて立ち上がったが右足に体重をかけると膝に痛みがあり動かすことも立っていることも出来ない状態になった。	44	10~ 29
7	13~14	需要家敷地内にてオイル配送業務時、ドラム缶から転落し右足を強打。診察の結果、右足踵骨骨折した。	61	50~ 99
7	16~17	棚下し作業でダンボール倉庫の中のダンボールの数を数えている際、2段パレット積みのダンボールが積まれているが、又、端数が上にあり高所の為確認出来ず、靴を脱いで積み上げられたダンボールの上に乗って確認していた所、次のダンボールの山へ移った時、ダンボールが崩れ落下し股関節、腰、背中を強打、頭をぶつけないように首に力を入れたせいか、首も負傷した。	53	1~9
7	11~12	桃の共撰を行う共撰場にて、桃の障害果検証中に、桃の入ったキャリー段ボール（約50kg）を手で移動させようと横にずらした際、右手親指がキャリー段ボールの側面の穴から抜けなくなってしまい負傷した。	26	10~ 29
7	16~17	社内倉庫で書類を探していた際、書類が入ったダンボール（A4、500枚束×10束）を足元から持ち上げたとき、腰に痛みがはした。	42	50~ 99
		表彰式会場において、控室に保管していた賞牌の確認をするため、およそ1kgの		500

7	14～ 15	賞牌14個が入った段ボールを収納棚下段から取り出そうとしたところ、想像以上に重かったことと、中腰の不適切な姿勢であったことから、腰に大きな負担がかかり、痺れがはしり下半身に力が入らなくなり倒れた。	33	～ 999
7	15～ 16	配送センターの倉庫内で作業中の被災者が、商品（会議テーブル）が縦積みされたカゴ台車付近を通行したとき、カゴ台車から倒れてきた商品とぶつかり、骨盤を骨折した。	67	10～ 29
7	10～ 11	自社倉庫にて品物の加工作業をしているとき、屈んだ状態で製品が倒れないように持ったまま、横に置いていた道具を取ろうと身体を右へ捻ったところ、右膝から鈍い音がして動けなくなった。	58	1～9
7	15～ 16	倉庫内において、商品ピッキング作業をしているときに、商品の入った箱を持ち上げた際、本来ならば腰を落として商品を持ち上げなければならなかったところ、不意に腕の力だけで持ち上げたため、腰に負担がかかり負傷した。	31	10～ 29
7	11～ 12	店舗通路にて、冷蔵商品の補充作業をし、他売場の商品が少ないため、違う缶キャリーに載せ替えようと、最下段の500ml缶1ケース（約13kg）を持ち上げたとき、腰に電気がはしかったような激痛があった。	49	10～ 29
7	6～7	市場場内にて、魚の選別作業のため、高く積まれたコンテナの上段を取ろうと手を伸ばした際、手を滑らせて、コンテナを足元に落とした。	61	50～ 99
9	10～ 11	病院4階西病棟で台車からオリコン（大）を持ち上げ、狭い廊下を運搬時に腰を痛めた。	42	10～ 29
9	7～8	船倉内でコイルの検品中に1段目コイル上から体勢をくずし船底へ転落した。	38	30～ 49
9	16～ 17	就業先である6F倉庫で作業中、30キロ程の荷物を持った際、右手の持ち手部分のパーツが外れ右足に荷物が落下。右手小指を負傷した。*当日は安全靴を着用して作業していた。	30	500 ～ 999
9	18～ 19	書類の箱を元の位置に戻そうと持ち上げた時に、右腕にブチッという痛みが走り、当日受診し右前腕部挫傷と診断された。箱の大きさは、 (30×40×30cm、6～7kg) あわてて持ち上げたため、右腕に大きな負担をかけ	50	300 ～ 499

		てしまった。		
9	16~ 17	不用材の整理をしていた際、エレベーターで使用する垂直搬送機のフレーム（100kg）を2人で移動させる時に、息が合わずフレームが持てなくて、手がフレームと地面の間にはさまり、右手中指を負傷した。	44	1~9
9	10~ 11	弊社ビルのエレベータ内に於いて、印刷物を載せるコンテナ（600mm×900mm×1364mm）をB1階から6階へ移動させようと、エレベータに乗ろうとした所、エレベータ内が混んでいた為、一緒に乗っていた男性がフォローしてくれ男性がコンテナをエレベータ内に引き寄せようとした際に、どこかに手を挟んで負傷した。咄嗟の事でどこに挟まれて負傷したのかは不明。	39	1~9
9	13~ 14	倉庫内で商品を棚から下ろす際に、背伸びをして腕を伸ばして取った時に痛めた。	49	30~ 49
10	19~ 20	ビール樽（1樽10kg前後の未開封樽）を冷蔵庫から出す際に、積み上げていたビール樽の1つが本人の足へ落下して足の指を骨折。積み上げられたビール樽が不安全状態であった。	21	50~ 99
11	19~ 20	社内入口付近にて荷物を出す準備をしていた時、薄暗い所に置いた木の箱（55×40×17cm）に躓きくるぶしを強打、ひねり右足首を負傷した。右足関節捻挫、靭帯損傷、歩行困難のため松葉杖使用、葬祭業務・運転不可能となった。	50	1~9
11	9~ 10	6F平場にて、コンテナ入荷後のダンボール格納作業中に棚の4段目に積み上げる際に手を滑らせ、顔に荷物が当たった。その日は痛みがなかったため作業を続けたが、翌日になり首を痛めたことが判明した。	19	100 ~ 299
12	10~11	仏壇を引き取りに2名で顧客自宅へ訪問し、お礎あげの仏壇を玄関内の上り框より運び降ろす際、体勢不十分な状態で持ち上げたところ、仏壇上部が不安定な状態となった。咄嗟に仏壇を落とさないように不自然な体勢のまま右足で踏ん張った為、右足側面に加重がかかり、右足の第5指を骨折し、患部をバンドで固定する処置を受けた。	61	1~9
12	9~10	ヤードにて、ユニットハウスの壁パネルを外す作業をしていたところ、パネルに指を挟まれた。	37	1~9

12	10~11	学童保育施設内で、玩具が入っていた空箱を片づけていたとき、紐を取りに行くために移動中に、空箱に躓いて転倒した。そのまま夕方まで勤務して帰宅したが、夜になって痛みが出たため、翌朝に受診したところ、右足親指の骨折が判明した。	67	1~9
----	-------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	-----

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)